

# マチを幸せにするための「価値創造サイクルとSDGsの取り組み」

## ローソンにおけるSDGsの取り組み

# 「SDGs」への貢献のために

～重点課題・目標(KPI)を設定し、持続可能な取り組みを推進～

ローソンは私たちのグループ理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」のもと、「マチのほっとステーション」を目指してお客さま起点で事業活動を推進しています。「3つの約束」を実現するためのチャレンジこそ「SDGs(持続可能な開発目標)」推進につながると考え、課題に積極的に取り組んでいます。

### 「SDGs委員会」で課題の解決と進捗を共有

ローソンの事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指すべく、2019年3月から「SDGs委員会」を立ち上げ、事業活動において社会課題の解決につながる取り組みを一つひとつ進めています。各部門がそれぞれの事業活動において自主的に「3つの約束」を実現するなかで「SDGs」に連動した取り組みを推進するとともに、「SDGs委員会」で定期的に課題の解決と進捗の共有を図っていきます。「SDGs委員会」が中心となって段階を踏みながら社会課題の解決により社会的責任を果たすとともに、企業の価値向上と持続的成長への挑戦を推し進めています。



●SDGs委員会組織体制



SDGs委員会(四半期に1回開催:全本部長)

事務局

SDGs推進部会(毎月1回開催:部長職以上)

### ●SDGsへの取り組みステップ

ローソンでは、SDGsが目指す姿に貢献すべく、2019年度からSTEP 1のSDGsの理解からSTEP 5の報告とコミュニケーションまで、段階を踏んで取り組みを進め、重点課題及び目標(KPI)の達成に向けて挑戦を続けています。

#### STEP1 SDGsを理解する

- 全社員を対象としたeラーニング
- 新入社員研修
- ローソンセミナー展示によるFC加盟店オーナー向け啓発活動
- 社内報での周知
- 各本部による勉強会

#### STEP2 重点課題を決定する

- 事業をバリューチェーンに配置し、社会課題を洗い出し
- 事業による社会課題のプラス・マイナス影響とSDGs目標を紐付け
- 自社・社会にとってインパクトの大きさを点数化
- インパクトの大きい課題をマトリクスに配置
- 「重点課題」の決定

#### STEP3 目標を設定する

- 「重点課題」の中で2030年に向けた目標設定が可能なものを選定
- 主管部署で選定した目標候補の内容を検討
- 取締役会で目標の内容(目標年度、数値等)の承認
- 目標(KPI)の決定

#### STEP4 経営へ統合する

- 組織業績評価のプラス項目に「SDGsの取り組み」を追加
- 目標(KPI)・重点課題管理項目の進捗管理
- 社員向け表彰制度へのSDGs項目追加
- 社員からの意見・提案の募集

#### STEP5 報告とコミュニケーションを行う

- 「統合報告書」「SDGsハンドブック」の発行/ウェブサイト等における発信
- TCFDなどのイニシアチブ参加(右記参照)
- ステークホルダーとの対話推進



### 2030目標(KPI)

2019年度に社会課題・情勢等に鑑み、社会環境面に関わる目標(KPI)を設定し、達成に取り組んでいます。

#### ●食品ロス削減

2018年対比

50%削減

#### ●プラスチック削減

容器包装プラスチック  
2017年対比

30%削減

（オリジナル商品  
環境配慮型素材）  
50%使用

プラスチック製レジ袋

100%削減

#### ●CO<sub>2</sub>排出量削減

1店舗当たりの  
CO<sub>2</sub>排出量

2013年対比

30%削減



ローソンは、2020年4月に「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」に賛同しました。激化する気候変動問題に対応するため、気候に関連するリスクと機会を分析し、事業戦略への影響を把握して対策を検討するとともに、積極的な情報開示に努めてまいります。

### あるべき姿2050

## さらなる挑戦!! Lawson Blue Challenge 2050!

～“青い地球”を維持するために!～

我々は、脱炭素社会の形成及びSDGsが目指す姿に貢献すべく、さらに高い目標にチャレンジします!

#### ●食品ロス削減

100%削減

#### ●プラスチック削減(容器包装)

オリジナル商品  
環境配慮型素材

100%使用

#### ●CO<sub>2</sub>排出量削減

1店舗当たりのCO<sub>2</sub>排出量

100%削減

2050年の“あるべき姿”に目線を置き、現在を振り返り、今何をすべきかを検討・議論し、ローソンにおけるSDGs(2030年)の重点課題・目標(KPI)を確実に推進します。

## ローソンにおける 重点課題

事業方針の「3つの約束」をもとに、当社のバリューチェーンにおける取り組みについて、社会課題・情勢などに鑑み、6つに分類しています。小売業にとって最も重要な安全・安心、社会インフラとしての取り組みを強調し、お客さま起点で決定しました。2030年まで重点課題(マテリアリティ)につきましては変更しませんが、主な取り組み・サービスにつきましては、すでに完了したものは削除し、新たなものを追加するなど、改廃を進め、SDGsへの貢献を拡大してまいります。

事業方針	対応するSDGs目標	重点課題(マテリアリティ)	主な取り組み・サービス
 圧倒的な美味しさ ほっと発見	  	安全・安心と社会・環境に配慮した 圧倒的な高付加価値商品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高付加価値のPB (プライベートブランド) 商品 (米飯・冷凍食品・ファストフード等) 提供</li> <li>● まちかど厨房の展開</li> <li>● 地産地消商品の企画・開発、国産食材の積極的な活用</li> <li>● 社会・環境に配慮した商品の開発・販売 (マチカフェ、ナチュラルローソンブランド等)</li> <li>● ローソンファーム (農場) の展開 (中嶋農法、GAP認証)</li> <li>● 製造・物流を含め、安定したサプライチェーンの構築・運用</li> <li>● 取引先との公正な取引の実施 (原材料の調達、購買管理の向上)</li> </ul>
 人への優しさ ほっとうれしい	 	商品や店舗を通じてすべての人の 健康増進を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塩分コントロール、糖質コントロール、添加物を削減した商品の開発</li> <li>● 保存料・合成着色料の不使用</li> <li>● わかりやすい栄養成分表示への変更</li> <li>● 医薬品を販売する体制づくり</li> <li>● ナチュラルローソン、ヘルスケアローソンの拡大</li> <li>● 自治体との健康づくり協定締結</li> <li>● オーナー・クルーの健康増進取り組みへの支援・補助</li> <li>● 健康経営の推進 (社員の健康チャレンジ促進)</li> </ul>
 地球(まち)への優しさ ほっとやさしい	 	働きやすく、働きがいのある環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働きやすい店舗環境の整備 (設備導入、作業工程等の見直し)</li> <li>● 店舗クルーの育成、定着促進 (ファンタジスタ資格制度、初期教育教材の活用)</li> <li>● オーナーサポート制度の導入 (FC加盟店オーナーの休暇取得サポート)</li> <li>● 多店舗経営のマネジメントオーナー (MO) 制度の推進</li> <li>● FC加盟店とのコミュニケーション強化 (加盟店アドバイザリー委員会、「オーナーほっとライン」)</li> <li>● 働き方の多様化推進 (リモートワーク制度化の検討)</li> <li>● 産休・育休・看護・介護休暇等の整備と利用拡大 (保育園の運営)</li> </ul>
	  	子どもの成長と女性・高齢者の 活躍への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひとり親家庭支援奨学金制度の継続</li> <li>● 子どもたちの未来のための募金の推進 (学校緑化、夢の教室)</li> <li>● 子どもたちの学習支援 (京都市スチューデントシティ、職場体験の受け入れ、出前授業等)</li> <li>● 食品の支援を必要とする施設等への商品寄贈</li> <li>● ケアローソンの展開 (介護支援)、イベントでの地域活性化</li> <li>● セーフティステーション (SS) 活動の推進 (女性や子ども、高齢者の見守り)</li> </ul>
		社会インフラの提供による 地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動販売、お届けサービス、デリバリーサービスの推進</li> <li>● ローソン銀行ATMサービス</li> <li>● 行政証明書の発行サービス</li> <li>● 自治体との包括協定の締結</li> <li>● 事業継続計画 (BCP) の見直し</li> <li>● 災害時の国・自治体と連携した被災地支援</li> </ul>
	  	脱炭素社会への持続可能な環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗の省エネ化 (CO<sub>2</sub>削減) の推進 (機器と運用)</li> <li>● 再生可能エネルギー (太陽光発電等) の活用・拡大</li> <li>● 物流の効率化と環境対応トラックへの切替えの推進 (CO<sub>2</sub>削減)</li> <li>● 食品ロス削減の推進 (食品リサイクル等)</li> <li>● レジ袋・容器包装のプラスチック使用量の削減</li> </ul>
	  		